

水路新技術講演会 プログラム

日 時:平成 24 年 2 月 14 日 (火)

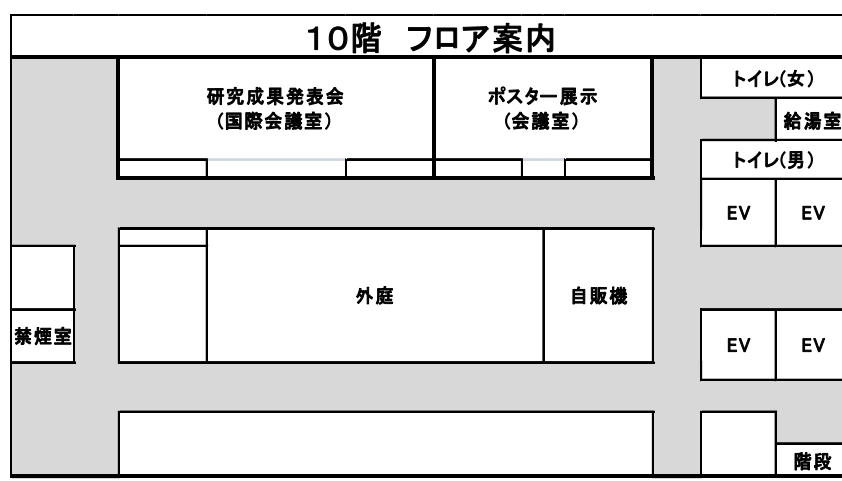
午後1時30分～午後5時30分

会 場:海上保安庁海洋情報部 国際会議室 10 階

住 所:東京都江東区青梅2丁目5番18号

主 催:海上保安庁海洋情報部

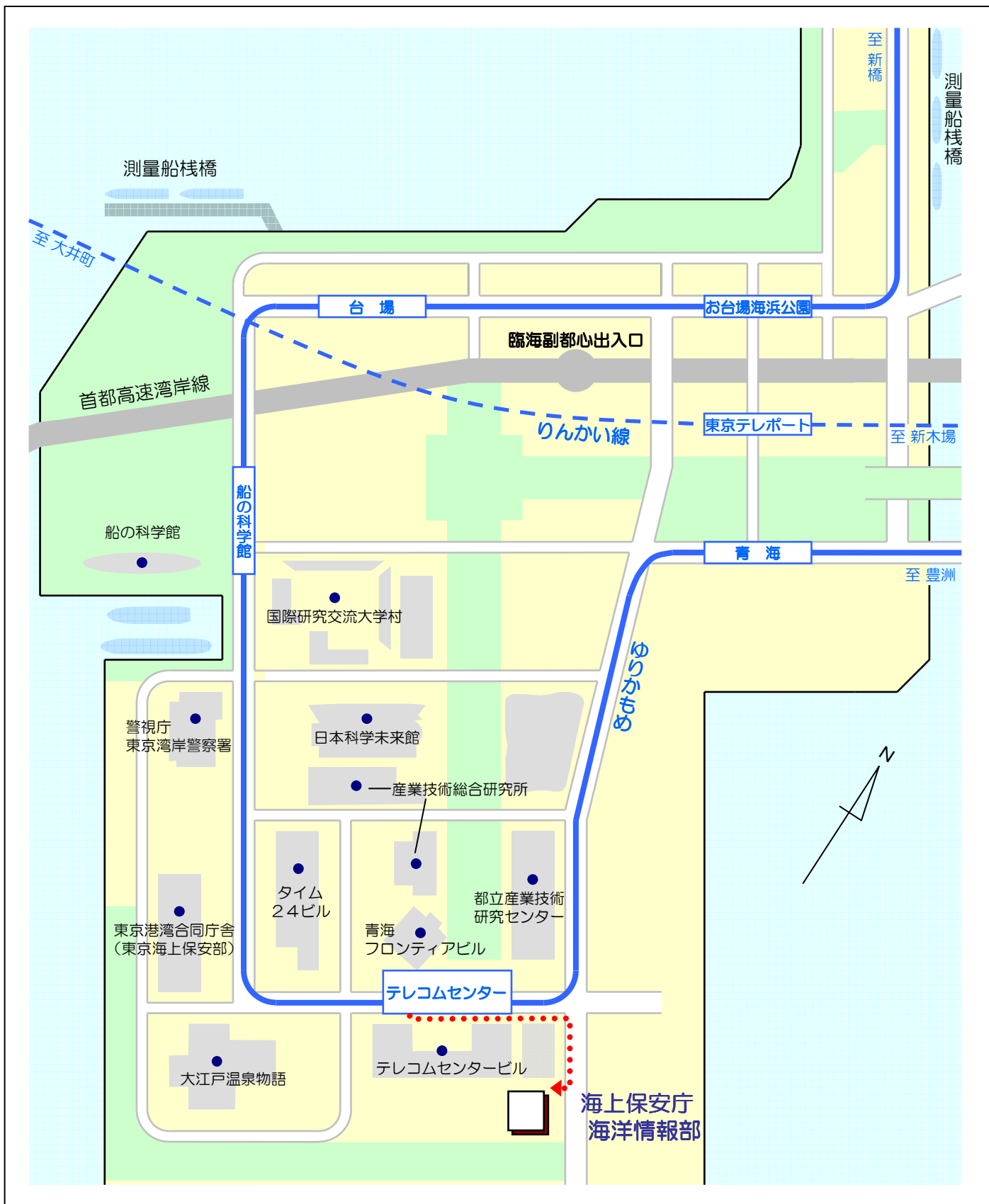
共 催:一般財団法人日本水路協会



◆交通手段◆ (裏面に地図の記載がございます。)

新交通ゆりかもめ「**テレコムセンター**」駅下車、徒歩5分

入場料は無料です。



海上保安庁海洋情報部

住所 〒135-0064
 東京都江東区青海2丁目5番18号
 国土交通省青海総合庁舎

交通 新交通ゆりかもめ「テレコムセンター」駅下車、徒歩5分

発表 【13:30~17:30】

開会挨拶

13:30~13:40 海上保安庁 海洋情報部長 加藤 茂

特別講演

13:40~14:40 「2011年東北地方太平洋沖地震が与えた衝撃」
東北大学地震・噴火予知研究観測センター
教授 松澤 暢

口頭発表

- (1) 14:40~15:00 「東日本大震災への対応」
海上保安庁海洋情報部 技術・国際課 松本 良浩
- (2) 15:00~15:20 「海底地殻変動観測が捉えた2011年東北地方太平洋沖地震と
その後の海底地殻変動」
海上保安庁海洋情報部 技術・国際課 海洋研究室 佐藤 まりこ
- (3) 15:20~15:40 「南海トラフにおける海底地殻変動と重心推定法による結果の検証」
海上保安庁海洋情報部 海洋調査課 航法測地室 石川 直史

15:40~15:50 (10分間休憩)

- (4) 15:50~16:10 「南西諸島海溝南部における沈み込み帯の速度構造」
海上保安庁海洋情報部 技術・国際課 金田 謙太郎
- (5) 16:10~16:30 「マリアナ海溝南部における蛇紋岩に伴う冷湧水系」
海上保安庁海洋情報部 技術・国際課 海洋研究室 小原 泰彦
- (6) 16:30~16:50 「小笠原諸島、西之島火山の地質学的特徴」
海上保安庁海洋情報部 技術・国際課 海洋研究室 伊藤 弘志

(7) 16:50~17:10 「航海用電子海図の視認性向上のための編集技術の開発」

(水路技術奨励賞受賞講演)

海上保安庁海洋情報部 航海情報課 林 和樹

(8) 17:10~17:30 「海洋情報クリアリングハウスの構築」

(水路技術奨励賞受賞講演)

海上保安庁海洋情報部 海洋情報課 長坂 直彦

17:30 閉 会

ポスター展示【13:00~17:30】

(1) 「大正・昭和に来島海峡で行われた主な潮流観測」

海上保安庁海洋情報部 技術・国際課 海洋研究室 福島 繁樹

(2) 「漂流ブイデータを用いたオホーツク海の平均流の推定」

海上保安庁海洋情報部 技術・国際課 海洋研究室 工藤 宏之

(3) 「測量船「拓洋」への海底地殻変動観測機器の装備及び
データ評価（速報）について」

海上保安庁海洋情報部 海洋調査課 航法測地室 氏原 直人

(4) 「海上保安庁における航空磁力計の更新」

海上保安庁海洋情報部 海洋調査課 航法測地室 宮崎 進

(5) 「航空レーザー測深機における計測作業」

海上保安庁海洋情報部 海洋調査課 小野 智三

(6) 「AIS 情報の水路測量計画立案への活用」

海上保安庁海洋情報部 技術・国際課 海洋研究室 尾花 良裕

(7) 「南西諸島孤南部前孤域の地質構造」

海上保安庁海洋情報部 海洋調査課 大陸棚調査室 堀内 大嗣